



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月12日

上場会社名 ベイシス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4068 URL <https://www.basis-corp.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 公孝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 高野 竜介 TEL 03(6435)9907
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の業績 (2022年7月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	5,354	12.7	379	△10.4	361	△14.1	274	2.2
2022年6月期第3四半期	4,749	37.2	424	34.1	421	33.6	268	24.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	148.18	145.97
2022年6月期第3四半期	148.07	145.17

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	3,666	1,949	53.2
2022年6月期	3,027	1,669	55.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 1,949百万円 2022年6月期 1,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年6月期	-	0.00	-	-	-
2023年6月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,150	14.1	504	3.0	494	1.9	309	△4.7	167.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期3Q	1,856,870株	2022年6月期	1,848,400株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	40株	2022年6月期	40株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期3Q	1,854,531株	2022年6月期3Q	1,816,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 2「1. 当四半期決算に関する定性情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2022年7月1日から2023年3月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限や入国制限の緩和により持ち直しの動きが見られるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料・燃料価格の高騰、サプライチェーンの混乱、加えて、急激な円安の進行など、インフレ拡大や景気後退に対する懸念が広がっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社の事業領域である情報通信分野においては、通信キャリア各社が楽天モバイル株式会社に対応してグループのサブブランドを使った通信料の値下げを行っており、これによりコスト抑制要請が高まっております。弊社の事業では基地局の運用・保守・監視を行うストック領域に影響が始めました。また、基地局建設に関わるサプライチェーンにおいて、半導体不足やコロナ等により予定よりも後ずれしている領域の影響を受け、フロー領域で第3四半期の売上の一部が第4四半期以降にずれ込むことが想定されます。

一方で通信事業者以外では、IoTエンジニアリングサービスで展開しているスマートメーター設置領域ではガス業界におけるスマートメーター設置が進み、引き続き堅調に推移しております。また、電力業界におけるスマートメーターについては、2020年度に設置計画はほぼ完了したものの、機器の不具合による交換作業の追加受注があり、こちらも前期に引き続き堅調に推移しております。IoT機器の設置台数は前年度を上回る進捗となっており、第3四半期時点で累計設置台数は55万台を突破しました。また、機器設置だけでなく、運用・保守といったストック領域に関する商談も増えており、第4四半期以降にストック領域の案件増加が見込まれています。

営業外費用においては2023年1月に既存のシンジケートローンのリファイナンスを行ったことにより組成費用が発生しております。

四半期純利益においては2023年3月の弊社本社オフィス移転に伴う固定資産の譲り受けによる特別利益および投資有価証券の評価損に伴う特別損失が発生しております。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高5,354百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益379百万円（前年同四半期比10.4%減）、経常利益361百万円（前年同四半期比14.1%減）、四半期純利益274百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

なお、当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、サービス別の売上内訳といたしましては、モバイルエンジニアリングサービス4,061百万円、IoTエンジニアリングサービス1,160百万円、及びその他132百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,225百万円で前事業年度末に比べ449百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が500百万円増加したこと、現金及び預金が148百万円減少したことによるものであります。

固定資産は441百万円で前事業年度末に比べ190百万円増加いたしました。これは主に建物の取得により108百万円増加したこと、工具、器具及び備品の取得により21百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、3,666百万円となり前事業年度末に比べ639百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,717百万円で前事業年度末に比べ358百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が400百万円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が45百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,717百万円となり前事業年度末に比べ358百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,949百万円となり、前事業年度末に比べ280百万円増加いたしました。これは四半期純利益を274百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の通期の業績予想につきましては、2022年8月12日付の決算短信において発表いたしました業績予想から変更はありません。

但し、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。そのため、業績予想の修正が必要になった場合には改めて開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	873,866	725,202
受取手形及び売掛金	1,642,681	2,143,237
仕掛品	224,070	306,688
前払費用	33,408	45,284
その他	2,242	5,044
流動資産合計	2,776,268	3,225,457
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,541	119,653
減価償却累計額	△7,225	△8,877
建物（純額）	4,316	110,775
工具、器具及び備品	11,304	32,936
減価償却累計額	△8,387	△9,380
工具、器具及び備品（純額）	2,916	23,555
有形固定資産合計	7,233	134,331
無形固定資産		
ソフトウェア	37,698	56,031
ソフトウェア仮勘定	19,272	15,486
その他	39	39
無形固定資産合計	57,009	71,557
投資その他の資産		
投資有価証券	40,000	20,000
繰延税金資産	36,879	36,879
その他	110,084	178,492
投資その他の資産合計	186,963	235,372
固定資産合計	251,205	441,260
資産合計	3,027,474	3,666,718

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	335,828	364,605
短期借入金	500,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000	-
未払金	61,252	88,293
未払費用	147,567	160,069
未払法人税等	111,624	66,321
賞与引当金	71,800	53,040
預り金	12,346	27,517
その他	72,950	57,279
流動負債合計	1,358,369	1,717,127
負債合計	1,358,369	1,717,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,034	333,871
資本剰余金	281,834	284,671
利益剰余金	1,056,539	1,331,350
自己株式	△302	△302
株主資本合計	1,669,105	1,949,591
純資産合計	1,669,105	1,949,591
負債純資産合計	3,027,474	3,666,718

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	4,749,929	5,354,032
売上原価	3,553,014	4,019,235
売上総利益	1,196,914	1,334,796
販売費及び一般管理費	772,829	954,861
営業利益	424,085	379,934
営業外収益		
受取利息	5	5
受取手数料	1,006	-
受取保険金	634	81
助成金収入	-	1,262
訴訟和解金	-	1,333
その他	110	26
営業外収益合計	1,757	2,710
営業外費用		
支払利息	4,250	4,219
支払手数料	-	16,500
株式交付費	463	60
営業外費用合計	4,713	20,779
経常利益	421,128	361,865
特別利益		
固定資産受贈益	-	90,482
特別利益合計	-	90,482
特別損失		
固定資産除却損	1,763	-
投資有価証券評価損	-	19,999
特別損失合計	1,763	19,999
税引前四半期純利益	419,365	432,348
法人税等	150,411	157,537
四半期純利益	268,954	274,811

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。